

第5次相生市総合計画（案）に対する市民意見提出制度（パブリック・コメント）を実施しました。

実施状況

件名	第5次相生市総合計画（案）について
期間	平成22年6月28日から7月16日まで
公表方法	市の公文書公開コーナー及び企画財政課での閲覧、ホームページ掲載
受付件数	4件（提出者1名）

提出された主な意見とそれをに対する市の考え方は、次のとおりです。

意見に対する市の考え方の公表場所

市ホームページ、広報あいおい（9/10号）、公文書公開コーナー（市役所内）

市民意見提出制度により提出いただいたご意見とそれを受けての市の考え方は次のとおりです。

【ご意見】

犯罪のない安全なまちをめざす

- ・防犯環境を整備する。に関し、夜間の外灯が少なく、遅い電車で帰宅時は安全な道路とは言いがたい。外灯を青色LEDにし増設することで以下の効果が期待できる。

安全な道路に改善できる

外灯を青色LEDにより防犯の効果が期待できる。

LEDにすることにより省エネ効果、CO2削減の効果が期待できる。

【市の考え方】

（修正しません）

増設に関しては、道路交通の安全確保のために、設置基準に基づき計画的に設置をしていく趣旨ですので、意見は計画案の中で包括されています。

また、LEDの導入に関して、費用対効果を勘案のうえ、実施段階で検討をしていきますので、現計画案には記載いたしません。

〈参考：計画（案）〉

○防犯環境を整備する

夜間における道路交通の安全を図るために街灯を設置するなど、犯罪の防止を図ります。

【ご意見】

災害に対する防災対策を強化する

- ・地震に対する予防対策を推進する。に関し、市内の各学校が災害時の避難場所になっていますが、大規模災害時（地震）に本当に避難が可能か、また、早急に耐震対策を施さないと避難場所が危険にならないか。

市内の危険箇所（防犯・防災）にI T Vを設置し、犯罪・事故の防止、土砂災害・浸水等の水害の事前・早期把握と初動動作の短縮、被害の軽減を図ってはどうか。

（わざわざ危険箇所に出向かず、状況を早期に把握できるのではないか。）

【市の考え方】

（修正しません）

市内の各公立学校の避難場所（体育館）については、耐震補強を行っているとともに、校舎についても順次耐震化を図っているところです。

その他の公共施設を含む特定建築物については、計画案どおり耐震化促進計画を策定します。

また、避難経路等については、取り組み事項中、「防災意識と知識の普及・啓発を図る」において、各地域の実態にあった図上訓練などにより、実践的な訓練を継続して実施していくこととしております。

また、市内の危険箇所（防犯・防災）にI T V（監視カメラ）を設置し、犯罪・事故の防止、土砂災害・浸水等の水害の事前・早期把握と初動動作の短縮、被害の軽減を図るなどについては、取り組み事項中、「危機管理体制と住民への情報伝達手段を構築する」において、記載のとおり体制を強化する取り組みの中で、費用対効果を勘案のうえ、実施段階で検討をしていきますので、現計画案には記載いたしません。

〈参考：計画（案）〉

○地震に対する予防対策を推進する

地震に対する安全性を確保するため、耐震化促進計画を策定し、公共施設の耐震化を図るとともに、市内の特定建築物について耐震化を促進します。

また、一般住宅においても、耐震化の促進について周知するとともに、支援を行います。

○防災意識と知識の普及・啓発を図る

まちかど出前講座や広報紙を通じた広報活動により、自分の身を災害から守ろうとする防災意識の向上に努めるとともに、地域住民による自主防災組織の育成を推進します。

さらに、各地域の実態にあった防災対策や避難計画について、市民自らが行動できるように図上訓練など、より実践的な訓練を継続して実施し、地域防災力の向上を図ります。

○危機管理体制と住民への情報伝達手段を構築する

地震や台風などの自然災害や、市民の生命、財産や市民生活に重大な被害を及ぼす恐れのある事故などに備え、平常時の事前対策や緊急時の対応、終息時の復旧・点検・検証が行える体制を強化します。

また、各関係機関との連携を強化するとともに、市民への情報伝達として防災行政無線などを整備し、危機管理体制の構築を図ります。

【ご意見】

公共交通と情報通信の利便性の向上を図る

- ・公共交通サービスを充実する。に関し、路線バスを小型化し、市内巡回の路線を新設する。また、イオンタウンにバスの乗り入れを行い、車に乗れない方の買い物を支援する。

【市の考え方】（修正しません）

路線バスを小型化については、事業者の判断により行われるものであります。路線の新設に関しては、計画案のとおり、路線の維持・確保に包括される事項と考えますので、案の修正は行いません。

また、イオンタウンにバスの乗り入れを行い、車に乗れない方の買い物の支援に関しては、取り組み事項中、「地域特性に応じた総合的な交通体系の確立を目指す」において、利便性の向上のために、総合的な交通体系の確立を目指すこととしておりますので、特定の場所や買い物の支援だけを計画案に記載はいたしません。

〈参考：計画（案）〉

○公共交通サービスを充実する

鉄道の利用促進を図るとともに、JR などに停車本数の増加要請をしていきます。

また、地域住民の生活交通であるバス・海上交通（連絡船）については、経営効率化にも配慮したうえで、地域住民の通学や市街地を結ぶ交通手段として、路線の維持・確保に努めます。

○地域特性に応じた総合的な交通体系の確立を目指す

鉄道やバスの乗り換えなど公共交通相互の乗り継ぎや地域特性に適した交通手段を周期的につなぐため、鉄道、バス、海上交通の連携及び公共交通空白地における交通手段について、総合的な交通体系の確立を目指します。

【ご意見】

市民力あふれるまちをめざす

- ・ボランティア活動を促進する。

ボランティアに興味あり、参加したいが活動の内容がわからない。参加できる活動があるのかわからない

【市の考え方】

（修正しません）

計画案のとおり、周知に努めることといたします。

〈参考：計画（案）〉

○ボランティア活動を促進する

社会福祉協議会と連携しながら、市民生活の様々な分野において、市民の主体的なボランティア活動やNPO 活動が活発に展開されるよう周知に努め、参加を促進します。